

日本共産党区議会議員清水菊美

こんにちは ニュース



ご意見・ご要望をお寄せください。 2023年 3月5日

ホームページをご覧ください <https://jcp-ota.jp/shimizu/>
ツイッター、フェイスブックも発信しています。

連絡先 清水菊美事務所 090-3342-3001

何としても 小中学校の給食費無料化実現へ！

党区議団が2022年度7月から行った区民アンケートでも「小中学校の給食費無料化」の要望が多く出されていました。

区立小中学校の給食費は一人当たり小学低学年月4100円、中学年で4500円、高学年で4950円、中学生5350円です。本来であれば、国が「義務教育は無償」の憲法に基づいて無償化すべきです。

児童生徒にとって大事な給食の無償化は全国で広がり東京23区内でも、葛飾区に続いて、北区、品川区、荒川区、中央区、世田谷区、台東区で、足立区は中学生の給食費の無償、杉並区は「今後考えていく」としています。第1回定例会で大田区が無償化に決断することを求めましたが、区長の答弁はなく、教育委員会は「その予定はない」と答弁しました。大田区では、約18億円あれば区立小中学校の給食費無償化が実現できます。



大田区議会議員の費用 弁償（交通費）を廃止

この3年間、区民はコロナ感染症と物価の高騰で暮らしはたいへん深刻になっています。このような中でも大田区議会議員は委員会、本会議、特別委員会に出席する度に3000円が交通費（日額旅費として）支給される条例があります。東京23区内では無償の区や実費支給の区が増え、コロナ禍で減額した区もあります（下表）。

日本共産党区議団は無償化の条例提案し、「大田区議会で約1046万円の予算の日額旅費は無償にして、区民のくらし応援のために役立てよう」と賛成討論をしましたが、自民、公明、令和は「議会でもっと話し合うことが大事」

「共産党は選挙前のパフォーマンス」等の意見で反対し、提案は否決されました。

なお日本共産党区議団は受け取らず積立とし、議員をやめる時に大田区に寄付しています。

清水菊美事務所 なんでも相談

毎週木曜日午後3時～5時

連絡先 090-3342-3001

顧問弁護士による
法律相談 第4木曜日です。
電話にて予約をしてください。
(曜日や時間は調整できます)

- 費用弁償（交通費）不支給
台東、荒川、杉並、豊島、練馬、墨田、江東（今議会で不支給とする予定）
- 実費
千代田、品川、世田谷、
- 2000円
港、文京、北、渋谷、目黒（2021年6月～2023年4月30日まで停止）
- 2500円 新宿、中央
- 3000円
大田、板橋、葛飾、江戸川、足立、中野（2021年～2022年度は1500円）

旧羽田旭小学校跡地を活用する民間事業者が決定しました（下の表参照）

区民の財産である土地を50年間事業者に貸して地代を受けとり、区営のコミュニティセンター等は区が事業社に家賃を払う仕組みです。
区は新たに建設するより「コスト削減となる」と説明しています。

スケジュール予定
令和5年度設計
令和6年既存建物取り壊し
令和6年後半～
令和9年9月新築工事
令和9年9月開始

1 事業予定者

代表企業

ミサワホーム株式会社

協力企業（5事業者）

株式会社類設計室、株式会社松村組、株式会社トヨタエンタプライズ、東急住宅リース株式会社、プライムライフテクノロジーズ株式会社

2 イメージパース・施設概要



施設名		機能名	延床面積
産業支援施設	イノベーションファクトリー（工場アパート）	試作開発区画、試作品量産区画、工場アパート（生産区画）、研究開発等区画（ソフトウェア企業等）（全64区画）	約8,800㎡
	リビングスタジオ（共同住宅・ワークカフェ等）	ワークカフェ、生活利便施設（カフェ・日用雑貨等）、ワークスペース、ワークレジデンス（共同住宅・全101戸）	約6,000㎡
(仮称) CC羽田旭		集会室(3室)、体育室、コミュニケーションスペース、防災備蓄倉庫、グラウンド等	約1,500㎡

※本資料は、事業予定者の提案概要であり、今後協議により変更する場合がございます。